

## 第 14 回議会報告会 報告書

地域名	浅野地域		
年月日	平成 28 年 4 月 21 日 (木)	会場名	浅野校区コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参加数	男性 8 人	女性 0 人	合計 8 人
班 長	深澤 巧	司会者	深澤 巧
報告者	水野雅広	書記	深澤 巧
班員名	深澤 巧、水野雅広		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①機能別消防団について、出動する火災の範囲はどうか。機械の操作の習得はどうするのか。</p> <p>②本年度予定されている地籍調査の箇所は決まっているのか。</p>	<p>①出動火災の種類は想定していない。分団員の補充である。団員は基本的にOBで、機械操作の講習開催も考えられている。</p> <p>②本年度の実施分と今後の予定は調べて回答させていただく。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①自営の果樹園で古カーペットを再利用したい。クリーンセンターに出されたものの譲渡を申し出たら断られた。議会から頼んでほしい。</p> <p>②天滝に年間何人の観光客が入るのか。観光施策に力を入れるべきである。PR不足ではないのか。ホームページの活用が必要である。情報がない。地元の方の情報を一つ一つ発信できるよう工夫してほしい。</p> <p>③特区の進捗状況はどうか。企業は平地にばかり入ってきているのではないのか。中山間地域はどうなっているのか。特区参入企業に就職ができないのか。特区企業での雇用は期待してもよいのか。</p>	<p>①議会が話しても無理なことだ。断られた理由については当局に確認する。</p> <p>②観光協会も一本化されたが、PR施策が統一されていない。観光地を支えてきた地元の団体が、高齢化等や財政上の問題で弱体化している。その中で、若い人がネットなどを使って大屋の観光地の動態調査をしていこうとする計画もある。地域での横の連携に期待している。</p> <p>③2年が経過した。これからはどのように実績を上げていくのかという期間になってきた。農業分野では11社が参入した。山間部での休耕田等で展開されているのは能座の酒米と長野、船谷でのハチミツ事業の2カ所である。</p> <p>1月現在で臨時雇用が3名の実績。農業の場合、計画的な雇用予定を立てることは難しい。特区の成功の目安は、休耕田、耕作放棄地の活用と、農業雇用にどれだけ増やすのかが、うまくいっているか否かである。結果が出てくる。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	④ふるさと納税は養父市民が養父市にできるのか。過熱してはいないか。	④養父市民も寄附できる。 平成 27 年度実績では7倍ぐらい増えている。競争でどんどん釣り上げるのはどうなのか。 景品を取り扱う業者はよいが、入札で選ばれているわけでもない。
その他(提言など)	①16名の中に全然質問されない議員がいる。一票を入れた市民としてはどうなのかと思っている。議員の研修会などで勉強していただきたい。このことは、周りでもよく耳にする。	①テレビ放送はよいことであるが、一方で、テレビに映ることを目的に質問されるとみられる傾向も出てきている。予算書の見方など勉強しないまま質問すると、疑問のある発言になってしまう。 研修については毎年1回している。本日もそのような指摘があったことを全議員に伝える。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 28 年 5 月 13 日

報告者 3 班 班長 深澤 巧 ④

